

令和7年2月期 業務実績報告書（経営総務課）

一 般 事 項

1 水道料金調定関係

項 目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 計画累計	D 前年度同月累計	E 対計画比較	F 対前年比較
1 調定件数	件	29,918	331,868	333,300	332,904	△ 1,432	△ 1,036
2 調定水量	m ³	568,431	6,714,516	6,864,000	6,842,082	△ 149,484	△ 127,566
3 調定料金(税抜)	円	176,572,453	2,051,577,888	2,076,000,000	1,949,076,214	△ 24,422,112	102,501,674
4 口振加入件数	件	24,426	271,651	—	273,623	—	△ 1,972

2 下水道使用料調定関係

項 目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 計画累計	D 前年度同月累計	E 対計画比較	F 対前年比較
5 調定件数	件	19,310	212,128	212,430	209,919	△ 302	2,209
6 調定水量	m ³	368,078	4,236,430	4,205,420	4,221,267	31,010	15,163
7 調定料金(税抜)	円	77,471,229	831,692,852	843,150,000	720,847,340	△ 11,457,148	110,845,512

3 給水業務関係

項 目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 前年度同月累計	D 対前年比較(B-C)
8 給水人口	人	72,532	—	73,989	△ 1,457
9 給水件数	件	29,795	—	29,860	△ 65
10 閉栓処理件数	件	162	2,304	2,333	△ 29
11 閉栓処理件数	件	164	2,499	2,587	△ 88
12 給水工事設計審査	件	22	340	474	△ 134
13 給水工事竣工検査	件	28	500	576	△ 76
14 経年メーター交換	件	16	4,421	4,538	△ 117
15 メーター口径変更	件	2	29	36	△ 7
16 督促状発送数	件	1,493	15,641	15,010	631
17 月末停止件数	件	119	—	114	5

4 排水設備業務関係

項 目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 前年度同月累計	D 対前年比較(B-C)
18 排水設備工事確認申請	件	12	226	282	△ 56
19 排水設備工事完了検査	件	14	237	289	△ 52

5 水道料金徴収関係

項 目	A 当月末未収額	B 収納率	C 前年同月未収額	D 収納率	B-D	R 4	R 3
20 当年度分	209,057,649円	90.74%	211,333,669円	90.14%	0.60%	90.44%	89.64%
21 過年度分	2,882,604円	98.59%	3,189,948円	98.27%	0.32%	98.32%	98.03%
22 計	211,940,253円	—	214,523,617円	—	—	—	—

6 下水道使用料徴収関係

項 目	A 当月末未収額	B 収納率	C 前年同月未収額	D 収納率	B-D	R 4	R 3
23 当年度分	108,166,352円	88.18%	90,756,330円	88.56%	△ 0.38%	89.27%	89.46%
24 過年度分	655,772円	99.29%	641,925円	99.16%	0.13%	99.24%	99.22%
25 計	108,822,124円	—	91,398,255円	—	—	—	—

7 受益者分（負）担金徴収関係

項 目	A 当月末未収額	B 収納率	C 前年同月未収額	D 収納率	B-D	R 4	R 3
26 当年度分	812,200円	97.29%	1,134,640円	95.98%	1.31%	97.24%	97.40%
27 過年度分	1,049,900円	25.75%	1,227,500円	29.52%	△ 3.77%	26.34%	14.16%
28 計	1,862,100円	—	2,362,140円	—	—	—	—

特 記 事 項

1. 2月期の経営状況

(1) 予算執行状況等について

・水道事業

ア 収益的収支

当期の給水収益は194,230千円（税込）で、前月期に比べて9,621千円の減、対前年同月比では2,861千円の減となっています。営業収益は194,552千円、営業外収益は事務手数料や預金利息など5,660千円、特別利益は10,480千円となりました。

当期の営業費用は委託料や動力費など108,918千円、営業外費用は企業債利息12,270千円を執行しました。

イ 資本的収支

当期の収入は、国庫補助金や加入金として5,953千円の執行となりました。支出は、建設改良費として工事請負費や事務費など49,067千円、企業債償還金として138,792千円を執行しました。

・下水道事業

ア 収益的収支

当期の下水道使用料は84,788千円（税込）で、前月期に比べて5,411千円の減、対前年同月比では9,142千円の増となっています。営業収益は86,134千円、営業外収益は国庫補助金や預金利息など43,587千円となりました。

当期の営業費用は委託料や動力費など80,268千円、営業外費用は企業債利息として40,162千円を執行しました。

イ 資本的収支

当期の収入は、企業債及び国庫補助金など299,417千円となりました。支出は、建設改良費として工事請負費や事務費など7,786千円、企業債償還金として142,549千円を執行しました。

2. 今月の出来事

(1) 登米市議会定例会2月定期議会

2月3日（月）に令和7年登米市議会定例会2月定期議会が開会しました。上下水道部では補正予算や浄化槽整備推進事業条例の一部を改正する条例など5件を提案しました。

2月25日（火）には、総務企画常任委員会・分科会で、浄化槽整備推進事業条例の一部を改正する条例、水道事業会計補正予算（第5号）及び下水道事業会計補正予算（第4号）について審議が行われました。

また、2月17日（月）の代表質問では、災害に対する備えと水道の有収率の向上に関する質問があり、災害に対する備えについては、想定される最大規模降雨が発生した場合に、内水より浸水する恐れのある区域での情報伝達や、避難場所、避難経路の設定などを行うための基礎資料として、雨水出水浸水想定区域図の作成をする旨の答弁を行いました。有収率の向上については、人工衛星を活用した結果を検証し、実施方法の改善など今後の取組に反映し、有収率の向上に努める旨の答弁を行いました。

(2) 出納取扱金融機関に対する検査

2月12日（水）に地方公営企業施行令第22条の5第1項の規定に基づき、出納取扱金融機関の（株）七十七銀行登米支店を対象とし検査を実施しました。検査では、公金の収納状況及び水道事業・下水道事業口座への入金処理状況や、支払金振込事務の処理状況等を検査しました。検査の結果、関係諸帳簿を照合等により精査したところ適正に処理されていることを確認しました。

令和7年2月期 業務実績報告書（水道施設課・下水道施設課）

水道施設課

経営分析の状況

◎ 配水量の状況

(単位: m³)

項目	当月実績 (A)	実績累計 (B)	計画累計 (C)	前年累計 (D)	比較 (E)	
					対計画 (B)-(C)	対前年度 (B)-(D)
総取水量	748,225	9,049,475	8,796,650	8,969,439	252,825	80,036
総配水量	696,127	8,415,580	8,205,820	8,368,045	209,760	47,535
1 有効水量	619,327	7,183,374	7,301,320	7,258,678	△ 117,946	△ 75,304
(1) 有収水量	572,889	6,763,406	6,912,400	6,890,941	△ 148,994	△ 127,535
(2) 無収水量	46,438	419,968	388,920	367,737	31,048	52,231
2 無効水量	76,800	1,232,206	904,500	1,109,367	327,706	122,839
(1) 漏水量	75,577	1,227,110	897,620	1,103,180	329,490	123,930
(2) その他無効水量	1,223	5,096	6,880	6,187	△ 1,784	△ 1,091
3 有収率	82.30%	80.37%	84.24%	82.35%	△ 3.87%	△ 1.98%

※ 当月期の最大配水量は、2月20日（木）に記録した【25,476m³】です。

◎ 主要な建設改良事業の状況

(単位: 件・千円)

主要な建設改良事業	予算 (A)		施工中 (B)		竣工 (C)		残額 (D) (A)-(B+C)	執行率
	件数	金額	件数	金額	件数	金額		
取水施設整備事業	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
浄水施設整備事業	9	693,617	6	652,426	4	31,855	9,336	98.7%
配給水施設整備事業	43	1,293,360	22	1,025,414	10	124,172	143,774	88.9%

※ 件数及び金額は、工事+委託（事務費・人件費含む）の合計です。

特記事項

1 災害訓練を実施

2月27日（木）、新田配水池において、災害訓練を実施しました。保呂羽浄水場からの水運用ができなくなったことを想定し、委託業者との連携と職員の誰もが迅速に活動できることを目的として行いました。



【給水袋への補水訓練の様子】

参加者は、東日本大震災後に新田配水池が築造された経緯の説明を受けたのち、給水袋への補水訓練及び給水車への補水操作訓練をしました。今後も災害等に備えて、訓練を行ってまいります。

【新田配水池】2,000m³×2池

応急給水設備（給水蛇口10栓 給水車補水蛇口2栓）

2 保呂羽浄水場水質計器保守点検を実施

2月17日（月）、保呂羽浄水場において、水質計器（濁度計・pH計）の点検を実施しました。水質計器は、水処理の制御にも影響していることから、安定した水処理をするため、年1回定期的に保守点検を行いながら、消耗部品の交換も実施しています。



【給水車への補水訓練の様子】

◎ 漏水調査結果について

漏水調査結果	施設	件数	漏水量 (m ³ /h)
	配水管	69	264.180
	付属施設	0	0.000
	給水装置	107	76.827
	計	176	341.007

【漏水調査結果：4月～2月（累計）】

※参考：漏水量削減効果（金額換算）

約2,382,248円/日当たり

算定：R5年度給水原価 291.08円

累計漏水量 341.007m³/h

341.007m³/h×24h×291.08円

下水道施設課

経営分析の状況

◎ 処理水量の状況

(単位: m³)

項目	当月実績 (A)	実績累計 (B)	前年累計 (C)	比較 (D) 対前年度 (B)-(C)	備考
公共下水道(迫・中田・登米・南方)	203,988	2,677,336	2,863,996	△ 186,660	1処理場
特定環境保全公共下水道	45,857	575,140	563,756	11,384	3処理場
米谷・錦織処理区	8,843	121,549	117,788	3,761	
豊里処理区	26,940	329,511	325,612	3,899	
津山処理区	10,074	124,080	120,356	3,724	
流域関連特定環境保全公共下水道(石越)	10,957	129,834	133,466	△ 3,632	
農業集落排水	89,132	1,188,654	1,206,344	△ 17,690	24処理場
迫地区	6,693	89,021	91,394	△ 2,373	
東和地区	2,847	30,550	30,555	△ 5	
中田地区	27,374	343,786	344,696	△ 910	
豊里地区	1,621	21,192	21,134	58	
米山地区	34,139	496,682	505,097	△ 8,415	
南方地区	16,458	207,423	213,468	△ 6,045	R6.4.1時点
浄化槽(特地・個排)	41,473	485,413	478,612	6,801	2,163基
合計	391,407	5,056,377	5,246,173	△ 189,797	

※流域関連特定環境保全公共下水道及び浄化槽については有収水量を記載。

◎ 主要な建設改良事業の状況

(単位: 件・千円)

主要な建設改良事業	予算 (A)		施工中 (B)		竣工 (C)		残額 (D) (A)-(B+C)	執行率
	件数	金額	件数	金額	件数	金額		
管路整備事業	10	764,969	10	678,691	3	22,031	64,247	91.6%
ポンプ施設整備事業	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
処理施設整備事業	61	573,639	27	397,184	34	67,952	108,503	81.1%

※金額は、工事+委託（事務費・人件費含む）の合計金額を記載。件数は、更新工事を除いた件数を記載。

特記事項

1 公共下水道管路の緊急安全点検を実施

令和7年1月28日（火）に埼玉県八潮市で発生した道路陥没事故を踏まえ、登米市内の公共下水道管路において、安全確認のため自主的に緊急安全点検を実施しました。

点検は2月4日～5日に登米中継ポンプ場からの圧送管吐出し部から迫中継ポンプ場までの4,248.23mと、迫中継ポンプ場からの圧送管吐出し部から佐沼環境浄化センターまでの1,192.91mの、合計5,441.14mの路面変状の有無などについて確認を実施しました。調査の結果、異常箇所は確認されませんでした。



【点検の状況】

2 登米幹線の管渠改築工事の完了

2月28日（金）に登米幹線管渠改築工事（2工区）が完了しました。この工事は、過年度のTVカメラ調査において、管路の異常が確認されていた部分について、熱硬化性の樹脂により管路の内部をコーティングする反転工法により、更生（施工延長L=901.32m）を行いました。令和7年度においても、引き続き同路線の管渠改築を実施する予定です。

○浄化槽整備事業受付状況

(2月末現在)

予定件数	受付件数	残件数
52	52	0

※令和6年度の申請受付は、12月中旬で終了しました。